

エネルギー・化学品カンパニー

事業分野

- エネルギー開発・トレード(原油、石油製品、LPG、LNG、天然ガス、水素・アンモニア、リニューアブル燃料等)
- 化学品事業・トレード(石化基礎製品、合成樹脂、生活関連雑貨、精密化学品、医薬品、電子材料、環境配慮型素材等)
- 電力・環境ソリューション事業・トレード(再生可能エネルギー発電、電力、熱供給、太陽光パネル、蓄電池、固形バイオマス燃料、その他関連部材)

カンパニーの強み

- 優良なパートナーとの協業を軸とした、環境に配慮したエネルギー開発・トレード
- 強力な事業会社群と海外拠点を活用した化学品分野における事業展開力
- 次世代電力分野における事業投資とトレードビジネスの両輪からなる網羅的なバリューチェーン



エネルギー・化学品カンパニー プレジデント

田中 正哉



左から

エネルギー部門長	山田 哲也
化学品部門長	田畑 信幸
電力・環境ソリューション部門長	安部 泰宏
エネルギー・化学品カンパニーCFO	金富 正道
エネルギー・化学品経営企画部長	前田 晴夫

「SDGs」への貢献・取組強化の具体例



廃食油等を原料に製造されたリニューアブルディーゼル



石油・LPガス貿易部
津田 亘

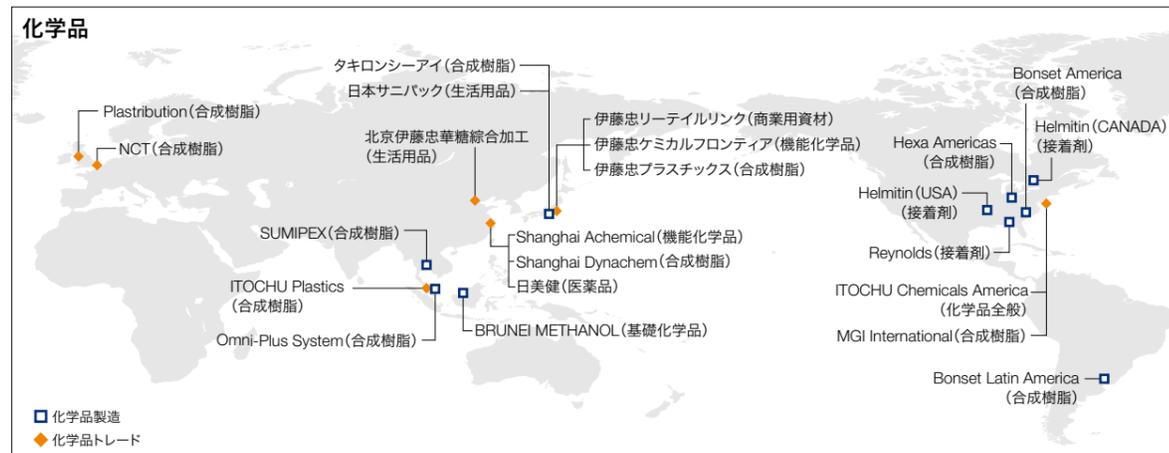
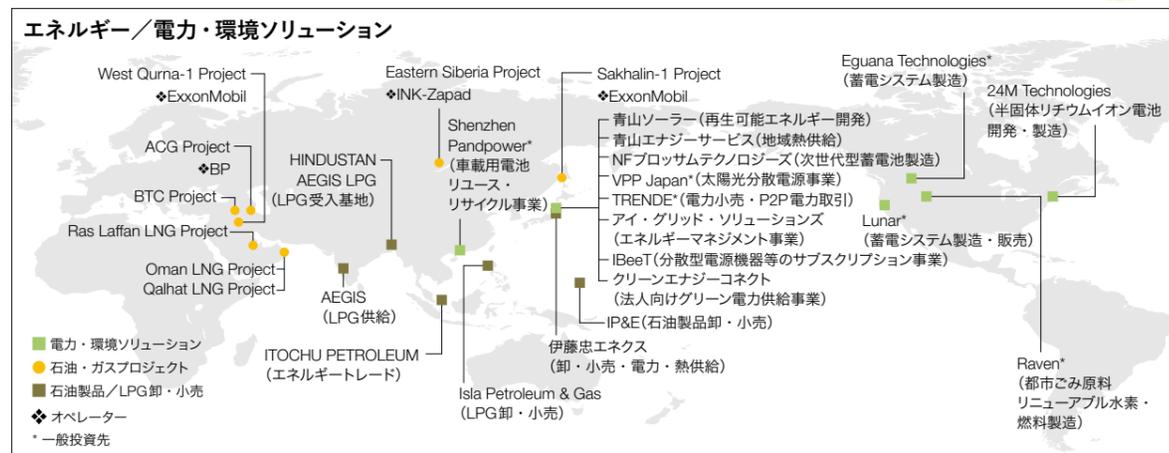
リニューアブル燃料のバリューチェーン構築

当社は、石油代替航空燃料(SAF)、リニューアブルディーゼル(RD)等、リニューアブル燃料のバリューチェーン構築を通じて、脱炭素社会の実現を目指しています。フィンランドNESTE社と日本向けSAF輸入販売に関する独占契約を締結し、日本国内での航空会社向け販売拡大に取り組んでいます。また、NESTE社が生産するRDの輸入販売にも取り組んでおり、日本初となる商用運送車向けRD給油拠点の運用を開始しました。NESTE社が生産するリニューアブル燃料は、廃食油等を原料としており、ライフサイクルアセスメントに基づくGHG排出量を石油由来燃料比でSAFは最大8割、RDは約9割削減することが可能です。当社は、今後も当社グループの総合力を活かしたリニューアブル燃料への取組みを通じて、「SDGsへの貢献・取組強化」を推進していきます。

事業展開 ※定量データは、Page 136~143をご参照ください。

国内事業損益割合(イメージ)

70%



2021年度レビュー(確実な成果)



- 日本初となるリニューアブルディーゼルの商用運送車向け給油拠点の運用を開始
- フィンランドNESTE社製の石油代替航空燃料の日本向け独占輸入販売契約を締結
- バイオマスプラスチックを原料の一部に利用した食品容器の展開、及びリサイクルナイロンブランドを有するイタリアAquafil社とナイロン循環(リサイクル)スキームの構築を推進
- リユース電池を用いた産業用・業務用大型蓄電池の開発、半固体電池等の次世代電池事業における優良パートナーとの資本業務提携を推進
- 事業会社を通じたオンサイト(屋根置き)・オフサイト(野立て)双方でのコーポレートPPA(産業向け電力販売契約)事業の推進、「追加性」のある再生可能エネルギーの取組強化

成長機会の取込み(持続的な成長)



- グループ会社との協働による水素・アンモニア等の次世代燃料バリューチェーン構築推進
- 知見活用及び優良パートナーとの協業によるCCUS(CO₂回収・有効利用・貯留)への取組強化
- 環境配慮型素材の共同開発や循環型(リサイクル)ビジネス等、社会課題の解決を図るビジネスモデルの拡充
- 蓄電池関連事業における優良パートナーとの次世代電池事業及びリサイクルビジネスへの取組強化
- 再生可能エネルギー発電所の開発・保有・運営を通じた再生可能エネルギーの安定供給の実現、SDGsニーズを踏まえた電力、固形バイオマス燃料トレードの拡大
- 世界初の大規模水素ビジネス投資ファンドClean H2 Infra Fundに参加

リスクへの対応(資本コストの低減)



- 脱炭素社会実現に向けた次世代燃料、化学品リサイクル事業、再生可能エネルギー等、環境ビジネスへの取組強化
- 既存ポートフォリオの更なる環境負荷低減に向けた取組推進

サステナビリティアクションプランに対応する項目に、該当するマテリアリティのマークを付しています。アクションプランの詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.itochu.co.jp/csr/itochu/activity/actionplan/>

- 技術革新による商いの進化
- 気候変動への取組み(脱炭素社会への寄与)
- 働きがいのある職場環境の整備
- 人権の尊重・配慮
- 健康で豊かな生活への貢献
- 安定的な調達・供給
- 確固たるガバナンス体制の堅持